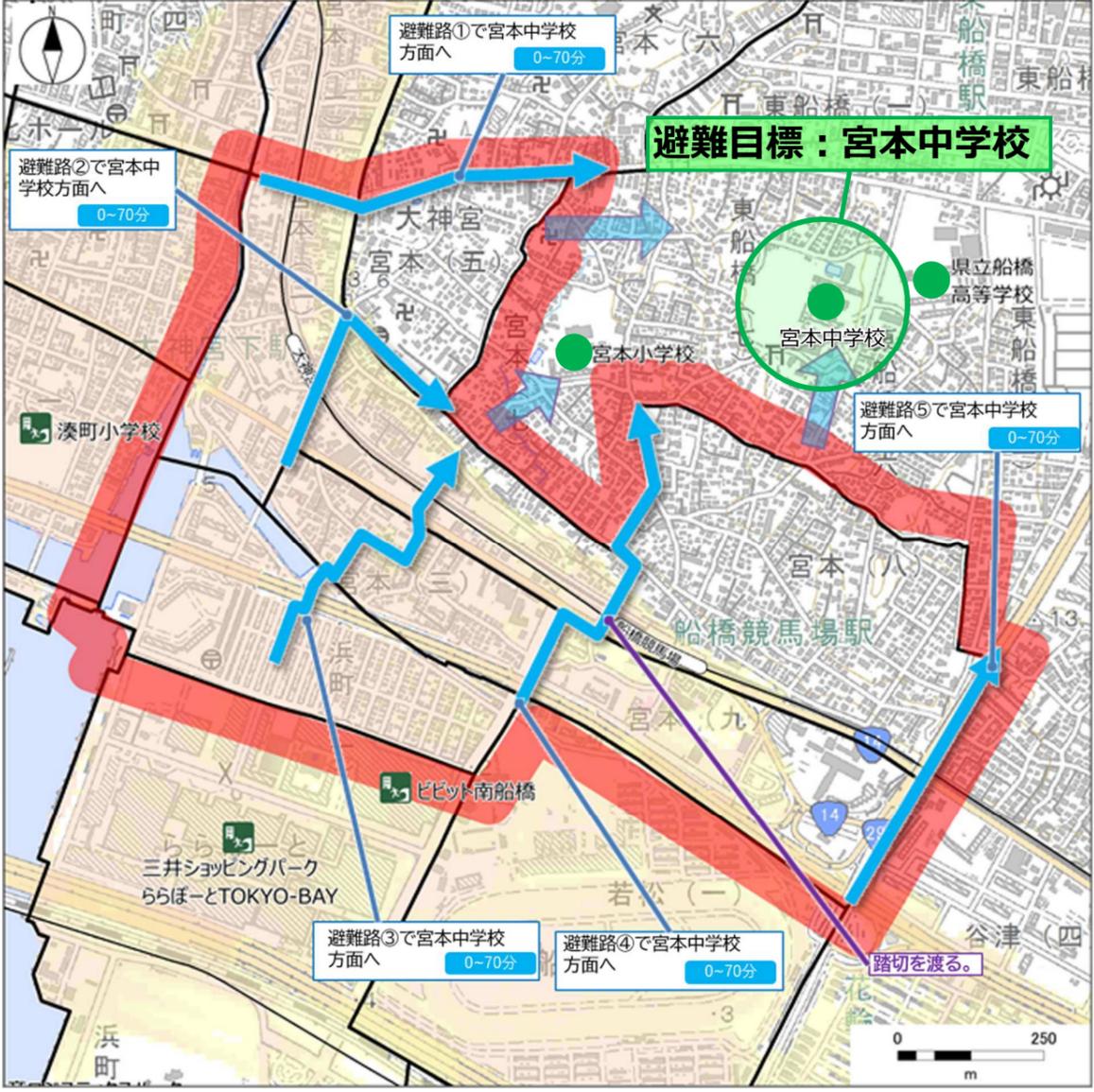


(21) 宮本二丁目、宮本三丁目、宮本四丁目、宮本五丁目、宮本八丁目、宮本九丁目、浜町一丁目

人口		昼間人口	10,328人	夜間人口	13,333人	対象地区を含む周辺図（および周辺の避難施設・避難路・避難方向）			
						避難目標	宮本中学校	避難先	宮本中学校、宮本小学校、県立船橋高等学校
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合				<p>●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。</p> <p>●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。</p> 			
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合							
液状化発生の危険性	液状化発生の危険性	各地区ともに京成本線沿いの一部で「極めて高い」、宮本二丁目、宮本四丁目、宮本九丁目、浜町一丁目ではほぼ全域で「高い」、宮本三丁目、宮本五丁目、宮本八丁目は一部で「高い」または「やや高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合							
	避難方法の考え方	避難方法A：避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。							
基本となる避難方法	地震発生	40分				70分(第一波到達)			
		避難対象地域の外に避難				頑丈な建物の上階等へ緊急避難			
		避難目標、避難先を目指す。				地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。			
		※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。							
	避難目標	宮本中学校							
避難先	宮本中学校、宮本小学校、県立船橋高等学校								
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から宮本中学校方面へ。 避難路②から京成本線を越え宮本中学校方面へ。 避難路③から京成本線を越え宮本中学校方面へ。 避難路④から京成本線を越え宮本中学校方面へ。 避難路⑤から宮本中学校方面へ。 ※河川や水路に近い道で避難する時は、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。								
(参考) 周辺の津波一時避難施設	ビビット南船橋、三井ショッピングパークららぽーとTOKYO-BAY、湊町小学校								
	※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。								
		千葉県津波浸水想定による浸水深 0.3m未満 0.3m以上0.5m未満 0.5m以上1.0m未満 1.0m以上3.0m未満 3.0m以上5.0m未満 5.0m以上10.0m未満 10.0m以上20.0m未満				凡例 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。 緑色の大きな丸は、避難目標を示します。 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。 津波一時避難施設を示します。 この対象地区の境界線を示します。			
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 令元情複、第551号)									